

津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



2021~2022

例会日/毎火曜日

例会場/プラザ洞津 津市新町1-6-28

事務所/津市大門7-15

津センターパレス3F

TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/岡部 宏司

幹事/薄井 美弥

E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp

ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/



第2628回例会 2021年7月13日(火) 天候 曇り



例会予定

- 7月20日(火) 山口久彦ガバナー補佐訪問
- 7月27日(火) 奉仕計画書発表2
- 8月3日(火) 月間関連卓話
地区会員増強委員会 委員長 中村 薫様
- 8月10日(火) 会員卓話 今野信太郎会員

進行担当

[山本SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング 我等の生業

出席報告

[伊藤(仁)委員長]

7月13日 出席率 40名中 33名 82.50%
6月29日 修正出席率 41名中 41名 100.0%

ニコボックス

[大熊委員長]

- 岡部 宏司君 本日は奉仕計画発表の前半です。各委員会の発表担当の皆様よろしくお願いたします。
- 薄井 美弥君 先日はたくさんのあたたかいニコボックスをありがとうございました。本日奉仕計画発表をして頂く方々、どうぞよろしくお願いたします。今野会員、佐藤様、ホームページの更新ありがとうございました。
- 川喜田 久君 初回から欠席してしまいました。本年度もどうぞよろしくお願いたします。
- 村木 正二君 会員増強に御協力お願い致します。!
- 澤田 勝志君 先日は羽根さんお世話になりました。! ありがとうございます。
- 庄司 正樹君 厚くなってまいりましたが皆様お体ご自愛下さい。
- 田島 和雄君 いつも欠席にて失礼しております。新型コロナウイルス対策で忙しくしてますが、近く時間がとれるようになりますと思います。

会長報告

[岡部会長]

- ◆ 朝、庭でクマゼミが鳴き出しました。梅雨明けを感じているようです。
- ◆ 本日は奉仕計画発表の前半です。各委員会委員長の皆様、よろしくお願いたします。
- ◆ 先週の会長報告でもお話ししましたが、ファイアー・サイド・ミーティングの開催をお願いたします。委員会ごと、あるいは関連の深い委員会合同など少人数の会合ですので、親睦にもなると思いますが、新型コロナウイルス対策が必要となりますが、会員が最低1回参加できるように開催したいので、よろしくお願いたします。会長か幹事のどちらかは同席いたします。

幹事報告

[薄井幹事]

- ★ 本日、奉仕計画書発表1開催の件 (7月27日(火) 奉仕計画書発表2)
- ★ 7月20日(火) 例会終了後クラブ協議会開催の件
- ★ 次回例会場「プラザ洞津3F」開催の件
- ★ 7月27日(火) 定例理事会開催の件

奉仕計画発表1

クラブ奉仕	今西 孝彰
出席	伊藤 仁
S. A. A	山本 哲司
親睦	吹戸 研一
プログラム	竹内 敏明
雑誌・広報	今野信太郎
会員選考	鈴木 康義
会員増強	澤田 勝志
ニコボックス	大熊 将弘

大熊 将弘君 本日、奉仕計画を発表させて頂きませんが、今年度もニコボックスのご協力を何卒宜しくお願いたします。

四つのテスト (Four-Way Test)

言行はこれに照らしてから
(Of the things we think, say or do)

1. 真実かどうか (Is it the truth?)
2. みんなに公平か (Is it fair to all concerned?)
3. 好意と友情を深めるか
(Will it build goodwill and better friendship?)
4. みんなのためになるかどうか
(Will it be beneficial to all concerned?)

職業人としてのロータリアンの心構えを、ロータリーの倫理基準から具体的に記述したものが「ロータリー倫理訓」だとすれば、それをロータリアンのみならず一般の職業人にも理解できるように、簡潔かつ的確にまとめたものが「四つのテスト」です。

ハーバート・テラーは、倒産に瀕していたクラブ・アルミニウム社の社長に就任し正しい営業活動を行えば必ず会社が再建できると考え、「四つのテスト」を示しました。同社の業績は改善を続け、1年後には借金は完済、5年後には株主に多額の配当金を分配するまでになりました。

1954年、彼がRI会長に就任したとき、その著作権がロータリーに譲渡されました。四つのテストは世界各国の言葉で翻訳され、広く活用されています。

「四つのテスト」の解釈

◆四つのテスト (Four-Way Test)

「事業を繁栄に導くための四通りの基準」ならば、当然“Four-Way Tests”と複数形になります。これが単数形なのは事業を繁栄に導くためには、四通りの基準の一つずつクリアすればいいのではなく、四つ纏めたものを一つの基準として、そのすべてをクリアしなければならぬことを意味します。

◆真実かどうか (Is it the truth?)

「嘘偽りがないかどうか」という意味です。真実というのは「80%の真実」という言葉が示すように、人間の心を通じたアナログ的判定であるのに対し、事実とは有ったか無かったかの二者択一を迫るデジタル的判定ですから、ここでは「事実」という言葉を用いるべきでしょう。

◆みんなに公平か (Is it fair to all concerned?)

“fair”は公平ではなく公正と訳すべきです。公平とは平等分配を意味するので、例え贈収賄で得た“unfair”不正なお金でも平等に分ければ、それでよいこととなります。

“All concerned”は“All”だけが訳されており、肝心の“concerned”が省略されています。この“concerned”は取引先をさすのは明白です。従ってこのフレーズは「すべての取引先に対して公正かどうか」ということを意味します。

◆好意と友情を深めるか

(Will it build goodwill and better friendship?)

“goodwill”は単なる好意とか善意を表す言葉ではなく、商売上の信用とか評判を表すと共に、店の暖簾や取引先を表します。すなわちその商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げ、取引先を増やすかどうかを問うものです。

◆みんなのためになるかどうか

(Will it be beneficial to all concerned?)

“Benefit”は「儲け」そのものを表す言葉です。ただし、売り手だけが儲かったり、また買い手だけが得をしたのでは公正な取引とは言えません。その商取引によって、すべての取引先が適正な利潤を得るかどうか問題なのです。

〈「日本ロータリーEクラブ2650ロータリー資料室」より〉

炉辺会合 Fireside meeting

1935年に、新入会員にロータリー情報を提供するためにはじめられたものである。その後、シカゴロータリークラブがこれを取り入れて、大きな成果を収めることから、世界的にひろまった、通称「炉辺会合」と言われた集いは、名前に「座談会」「家庭集会」(Informal Meeting, Home Meeting)「情報集会」(Informed Group Meetings, あるいはInformation Meeting)などの変遷があり、現行では、この言葉そのものが「手続要覧」にはみられなくなっている。

実態として、クラブによって様々な名称で集会が行われている。

炉辺会合は新会員の同化、および会員間の親睦と情報交換、そしてロータリーを推進するために、会員の自宅その他に少人数が集まって和やかに自由討論する非公式な会合である。

〈ロータリー用語便覧

(日本ロータリーEクラブ2650R.C)より〉

クラブ協議会

クラブ協議会は、週例会と対照的に、会長がクラブ役員、会員、委員に情報を伝達することを目的として年度中いろいろな折に開催されています。このクラブ協議会は、会長が委員会のプログラム計画の進展状況に耳を傾ける格好の機会です。また、どうすれば奉仕プロジェクトを効果的なものにするかについて意見の交換を奨励する機会でもあります。

年度中4-6回のクラブ協議会を開くことが推奨されています。クラブによって開催日が異なる場合もあります。〈「国際ロータリー2660地区ロータリー百科事典」より〉

クラブ協議会は、クラブのプログラムと活動もしくは会員教育について協議するために開かれる、クラブ役員、理事、委員会委員長を含むクラブ会員全員の会合である。すべてのクラブ会員は、協議会に出席することが強く奨励されている。クラブ会長、もしくは指定された他の役員が、クラブ協議会の議長を務める。

〈「ロータリー章典7.050.」より〉